

2024年度(令和6年度)一般選抜B日程

小論文問題

芸術文化観光専門職大学
芸術文化・観光学部 芸術文化・観光学科

注意事項

1. 試験監督者の指示があるまでは、この問題冊子を開いてはいけません。
2. この問題冊子は表紙のほかに5ページあります。
3. 問題は1題3問あります。
4. 解答用紙が1枚、下書き用紙が1枚あります。
5. 試験監督者の指示に従い、黒のボールペン(消せるものは不可)で、氏名、受験番号を解答用紙のそれぞれ1か所の記入欄に記入しなさい。
6. 解答は解答用紙の所定の箇所に記入しなさい。解答用紙の裏面には記入してはいけません。
7. 解答用紙は横書きです。
8. 数字は1マスに1字ずつ記入しなさい。たとえば、「10」は2マスを使って記入します。
9. 試験時間は90分です。
10. 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰りなさい。

次の資料を読んで、後の問い（問1～問3）に答えなさい。なお、出題の都合上一部を
改変したところがある。

資料A

※著作権の関係により掲載できません。

※著作権の関係により掲載できません。

※著作権の関係により掲載できません。

(出典:石黒浩「ロボットと人間一人とは何か―」岩波新書、2021年)

資料B

※著作権の関係により掲載できません。

(出典:菅野仁「友だち幻想」ちくまプリマー新書、2008年)

資料C

※著作権の関係により掲載できません。

(出典:内閣官房孤独・孤立対策担当室「人々のつながりに関する基礎調査(令和4年)」)
https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kodoku_koritsu_taisaku/zittai_tyosa/r4_zenkoku_tyosa/index.html

※直接質問は、質問内容が「孤独」について直接的に質問する内容で構成されています。上記は「あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。」という質問に対して

1. 決してない、2. ほとんどない、3. たまにある、4. 時々ある、5. しばしばある・常にあるから選択した回答を集計した結果です。

資料D

※著作権の関係により掲載できません。

(出典:厚生労働省「令和5年版厚生労働白書」)
<https://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/22/dl/zentai.pdf>

問題

問1 資料 A を読んで、筆者が下線部のように考えた理由を、300字以内で説明しなさい。

問2 資料 B の内容を250字以上300字以内で要約しなさい。

問3 本格的な高齢化・人口減少時代を迎えようとしている昨今、孤独や孤立の問題が顕在化している。この問題にどう向き合うべきか、資料とグラフを踏まえて600字以内で述べなさい。